

2015全国通信三田会春期幹事会報告

2015年5月23日(土)

資料 NO. 2-8

地域連絡部部長 瀬戸田 誠

1. 地域連絡部の現状と対策案

- 1-1 各地域の地域三田会を掌握する副部長の認識が薄い(役務の認識)
→ 幹事会出欠連絡期限の設定も必要
- 1-2 現在パソコンの無い、出来ない副部長への対応
→ 担当の交代処置、または、パソコンのできる人に補佐役、サポートしてもらう。
また、1-3 の有効機能を選定し徹底対応を図る ～東北、甲信越地区
- 1-3 情報の連絡方法の多角的活用がされてない(連絡、回答が遅い)
→ E-Mail、携帯電話の携帯メール、SM(ショートメール)、ファクス等を念頭に、活用できる手段をスピーディに判断活用する
- 1-4 地域内の有効な連絡網(マップ)整備の改善
→ 東北、甲信越地区

2. 地域連絡部の日常活動と役割

- 2-1 各地域内の活性化のけん引役としての活動を地域三田会とタイアップしパワーアップする。(活性化有効手段と考えられる合同通信三田会活動の促進)
→ 合同通信三田会未組織地域への促進活動をし活性化を計る
東北、甲信越、北陸地区
- 2-2 地域にある慶友会と通信三田会の交流を促進、会員増対策を図る
→ 慶友会との交流の有無を地域内で調査把握
- 2-3 全国通信三田会幹事会への出席は、会長に限らず代理出席も可能であることの徹底。再度幹事会幹事就任の可否の調査も必要。

3. 幹事会欠席される地域通信三田会会長への要請

- 3-1 幹事会欠席される地域通信三田会の会長は、幹事会役員メールに地域の報告書を
幹事会開催日以前に幹事会幹事メール送信する。地域情報の共有の為必要。

以上